

# 鶴の子



千景市立鶴沢小学校

学校だより

6月号

令和7年6月3日

## 『見守られて』

校長

何年か前の出来事です。放課後、子供たちが下校して間もなく、1本の電話が入りました。その内容は、下校途中の子供が走っている車に向かって石を投げており、それがその方の車のフロントバンパーに当たり、割れてしまったというものでした。石の当たり所等によっては大事故につながりかねず、とても危険な行為であることに大変ご立腹されている様子でした。車には赤ちゃんも同乗していたとのことで、もしものことを考えると、その憤りや心配についてはまったく異論はありませんでした。

学校としては、石を投げるということがどんなに危ないことかを改めて指導する必要があるとして、まず翌朝一番に各学級の担任を通して、全校の子供たちに確認しました。

すると、本当にあっという間にわかりました。二人の子供が担任に自分たちであることを告げたのです。その子供たちに状況を聞くと、「学校の帰り道に車に当たるかどうか、石を投げていた。いけないこととはわかってはいたけれど、楽しくなってついやってしまった。車に当たったこともわかったけれど、叱られるのがこわくて家の人には言わなかった。」と話しました。また、子供たちは「謝りたい。」と、反省している気持ちを相手に伝えたいということも口にしました。保護者の方もすぐにお詫びの気持ちを表したいとの考えでした。

これらのことをその方にお伝えすると、子供がすぐに正直に名乗り出て、いけないことをしたと謝っている気持ちを汲んでくださり、「子供だから間違えることもあるでしょう。でも、その時に正直に謝ってもらえればいいのです。」とおっしゃいました。

私たち大人も間違えたり、迷ったりしながら毎日を過ごしています。まして、生まれて数年、十数年の「子供時代」はなおさらです。完璧なはずはなく、未熟な子供たちが家族や友達、周囲の人々とかかわる中で様々なことを学習し、少しずつ成長していくのです。

この時の子供がしたことはとてもいけないことです。しかし、それを知らせてくださり、子供が正直に謝ったことを喜び、ゆるしてくださったことに、その方の広い見守りの心を感じました。子供たちがこのように周囲の方々に叱られたり、ゆるされたりしながら、その成長を見守られていることに改めて気づかせていただいた出来事でした。

先日も下校時に子供がけがをしてしまったことがありましたが、近くで見ていてくださった方がすぐに学校に連絡をくださり、介抱してくださいました。また、たまたま通りかかった看護師さんという方も手当てをしてくださいました。本当にありがたいと感じました。

今日も子供たちはたくさんの方々に見守られて、大きくなっています。





## 行事予定



# 掲載割愛

### 給食費・学校徴収金の口座振替のお知らせ

6月25日（水）は、給食費・学校徴収金の口座振替日です。登録口座の残高を確認し、振替日前日までに必要な金額をご用意ください。引き落としができない場合、7月15日（火）に再振替を行います。

再振替でも引き落としができない場合、給食費は納付書、学校徴収金は振込依頼書による金融機関等でのお支払いとなりますのでご注意ください。（学校徴収金は、振込手数料が必要です。）

（学校給食費に関するお問い合わせ 市保健体育課 電話 245-5909）

（学校徴収金に関するお問い合わせ 本校教頭 浅野 電話 227-7576）

### 放課後の校庭開放

千葉市では、すべての小学校において、子供たちの安心・安全な遊び場として、放課後の校庭開放を実施しています。本事業は、学校の教職員が利用者を管理・監督するものではなく、公園に遊びに行くのと同様、行き帰りも含め、利用者自身が安全の確保やトラブルの未然防止に留意しながら遊ぶものです。使用する場合は、以下のルールでお願いします。

①開放日 平日（月～金）

②開放時間 授業終了後から16：30まで

③利用対象 原則として、本校に在籍する児童とその保護者等（同伴幼児を含む）

④その他 自転車は、鶴の子像周辺に置く（自転車でグラウンド内を走らない）。

### 送り迎え時の駐車

東門側の道路には歩車分離の歩道がなく、児童はスクールゾーン表示の緑のラインを歩道として歩いてきます。お子様を車で送迎される方がその上に駐車されますと、子供たちがその車をよけて車道に出て歩くような状況になり、駐車車両をかわして走る車もいることから大変危険です。特に雨天時は視界が悪く、児童が傘をさしていることから、より危険な状況になっております。こうした状況を改善するため、西門側も同様に皆様のご協力をお願いいたします。

### 校内の死角点検

千葉市では、校内における性暴力防止のため、校内の死角点検を実施しています。死角点検では、空き教室や校舎内の「入りやすく見えにくい」ところを確認し、改善を図っています。

本校でも点検を行い、職員間で死角となる場所の共通理解を図りました。